

6月行政区行事

行政区	日時	内容・場所	
折地作出	4日(土) 8:00~	農村公園の清掃	
	5日(日) 8:00~	お宮公民館清掃 東隣組当番	
	19日(日)	8:00~	分別収集(市より分別指導) 公民館
		10:00~	クリーク清掃(デイサービス打ち合わせ後)
古島	12日(日) 8:30~	環境保全共同作業 公民館集合	
	26日(日) 8:00~	公民館掃除 南1組 公民館	
井田上	5日(日) 8:00~	さつまいも苗の植栽 子ども会	
	8日(水) 9:30~	さんかく塾 公民館	
	22日(水) 9:30~	さんかく塾 公民館	
井田下	7日(火) 13:30~	さんかく塾 公民館	
	14日(火) 13:30~	さんかく塾 公民館	
	19日(日) 7:30~	分別収集	
	21日(火) 13:30~	さんかく塾 公民館	
	26日(火) 7:00~	環境保全作業 公民館	
	28日(火) 13:30~	さんかく塾 公民館	

事務局からのお知らせ

住所 〒833-0035 筑後市古島195-1
 電話/FAX 0942-53-7656
 メールアドレス kojimacom1@space.ocn.ne.jp

この日は、事務所はお休みです

6月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

つぶやき 「いやな季節?が・・・やってくる」
 6月といえば、雨の季節・・・そう梅雨の季節がやってくる。子どもの通学、通勤時には服が雨に濡れて「じめ〜」となり一日が憂鬱な気分。洗濯物は乾かないし、それにカビは発生する。雨水がたまりボウフラが繁殖し、蚊に刺される・・・それから食中毒に水虫の罹患率が高くなる。考えれば考えるほど憂鬱 〰️〰️〰️。ですが、嫌なことばかり考えても仕方がないので、いいことはないかと考えてみた。独身で若ければ・・・彼と相合い傘とか映画館でデートとかあるが、私にはまあ〜関係がない(笑)。あとは、お肌が潤うとか、マイナスイオンでリラックス、雨音でアルファ波が出て集中できる、大地が潤い農作物には恵みの雨とか・・・でも一番うれしいのはスーパーの割引セールの日がいつもより早くなることでした。(M. I)

古島校区コミュニティ協議会

6月 広報 はんぎり 62号

～いきいきと住みよい社会にするために、
 共に支えあい自主活動する協働のまちづくり～

平成28年6月1日発行

平成28年度 まちづくり講演会

～ 富安 久夫さん(井田下行政区)が筑後市より表彰されました ～

4月26日(火)筑後市が市の発展に大きく貢献された方を表彰する「市政功労・社会功労表彰」がまちづく講演会の式典でありました。

古島校区からは、富安久夫さんが、社会功労を表彰されました。富安さんは、平成11年から現在まで、花宗用水組合議員を務められ、産業経済の発展に寄与された功績を称えられました。

その他式典では、行政区長やコミュニティ協議会会長紹介がありました。



表彰される富安 久夫さん

折地作出行政区

5月8日(日)折地作出行政区でバーベキューが行われました。最近の天気予報はよく当たりこの日は、「曇りのち雨」の予報。子どもたちは、「雨だったらバーベキューはないの?」と心配の様子でした。午前中は曇り空の中クリーク清掃を行い、やはり午後から雨が降りだしたので少し早めにバーベキューを行いました。子ども 12名 大人 22名が参加。お肉に野菜、焼きおにぎり、焼きそばなどたくさん食べて、たくさん飲んで楽しい時間を過ごしました。



あいさつ運動

5月11日(水)古島小学校であいさつ運動が行われました。筑後市役所の方や地域の皆さん学校の先生やPTAの方が正門・西門に立ち、登校してくる子どもたちに「おはようございます」と声をかけられました。子どもたちも笑顔であいさつをしていました。



古島校区の子どもたちが頑張りました!!

5月14日(土)に県営広域公園体育館で「筑後市ドッジボール大会がありました。この大会に古島校区を代表して、2チーム「古島ドラゴンズ」「古島ファイターズ」(21名の子ども)が参加し精一杯の力を出してくれました。結果は、古島ドラゴンズは予選敗退、古島ファイターズは予選で4勝し、午後の決勝に進出しました。しかし健闘むなしく、決勝1回戦で敗退してしまいましたが、よく頑張りました。



《ご注意を!!》

暑くなってきて、みなさん海水浴や溪流遊び、キャンプに釣りなど楽しい予定があるのではないのでしょうか? ゴールデンウィークごろから、水難事故のニュースを耳にします。

古島校区では、クリークで魚釣りをされているところを見かけます。子どもだけで川に行ったり、クリークに行ったりしないようにしましょう。また、自宅用の浅いプールでも溺れることがあります。子どもであれば、20cmあれば溺れる可能性があると言われます。自宅だから...浅いから...と思わずに子どもから目を離さないようにしましょう。

もし、川で溺れている人がいた時に、助けに川に飛び込む行動は、二次災害につながる可能性があります。飛び込んで助けるのではなく、救助を呼びましょう。そしてペットボトルなど水に浮くものやロープを投げて救助をしましょう。

また、「熱中症」にもなる季節です。お出かけの時や作業時などは、帽子や日傘などを使い、のどが渇いてから水分を取るのではなく、こまめに水分をとり適度に休憩をしましょう。